

新島田の逸品

日本に誇る島田のモノがたり

新市誕生10周年を記念して、2015年に認定を始めた「島田の逸品」。今年度は、再び募集を行い、選考の上、18品を認定しました。認定した産品は、次回募集までの約2年間、「島田の逸品」としてPRしていきます。

問 商工課 ☎ 36・7164



■ 島田の逸品とは

5項目の認定基準を満たした上で、市の魅力と認知度を向上させるシンボリック的存在として認定を受けた産品です。

■ 認定基準

- ① 島田市の歴史・文化・伝統・自然が表現されている。
- ② 島田市の認知度を向上させることができる。
- ③ 同種商品において他と異なる特長を有している。
- ④ 現代の嗜好にそった、デザインである。
- ⑤ 商品の開発、または販売にストーリー性がある。

■ 逸品が持つ可能性

- ① 魅力に気付くきっかけ
産品という形で、私たちにまちの魅力を教えてくれます。
- ② 魅力を守り続ける手段
まちの歴史・文化・伝統の大切さを伝えるとともに、それらが途絶えることのないよう守っています。
- ③ 新たな魅力の創出
培われてきた経験と技術を生かし、その時代に合った新しい産品が生み出されます。
- ④ まちの魅力を育む
逸品は私たちの誇り。私たちの厳しい目とその産品を育み、やがて私たちの口が架け橋となって魅力を伝え広めてくれます。

■ 新規に「緑茶部門」新設

地球上で最も緑茶を愛するまち「島田市」において、市民に愛される緑茶（普通蒸し煎茶、深蒸し煎茶）2品を認定しました。



多くの出展品を飲み比べ選考しました

島田を身近に感じてもらえる商品ばかりです

今回、選考委員として参加して感じたことは、島田の逸品は、対外的なPR商品としてはもちろん、市民に愛されている商品だということです。長年地域で愛され続けてきた商品や、若い人たちが魅力を感じるアイディア商品などが、市民投票でも多く票を集めていました。今年度から新たに新設された「緑茶部門」は、応募商品のどれも甲乙つけがたく、島田のお茶のレベルの高さを感じましたね。それぞれが特色を持っていて、おいしさも十分。パッケージのデザインにも工夫がありました。

島田の逸品は「高級」というイメージではなく、日常にある商品として使ってもらいたい商品ばかりです。市内外の人に島田を身近に感じてもらうきっかけになればと思います。



島田の逸品選考委員
まつおひろかず
アピタ島田店 松尾宏蔵 店長

新たに認定された 18 品(緑茶部門 2 品)



島田茶・普通蒸し
「山のお茶」
(石川製茶株式会社)



深蒸し煎茶つゆひかり
(株式会社高森商店)



お茶ペン
(有限会社浅原工業)



カネスグリーンティー
『息吹-IBUKI-』
(株式会社カネス製茶)



燻製紅茶
(カネログ松本園)



稀少手摘み和紅茶
(カネトウ三浦園)



黒大奴
(株式会社清水屋)



小饅頭・味噌饅頭
(有限会社龍月堂)



大井川もなか
(株式会社みのや)



お茶羊羹
(株式会社三浦製菓)



ちょっぴり贅沢なおとなの生チョコシリーズ 5 種
(株式会社カネス製茶)



若竹 鬼乙女 特別純米酒
(株式会社大村屋造場)



島田帯うどん
(株式会社日本防災システム)



伊太リアンな梅
(大石富佐子)



七王〜しちおう〜
(有限会社キムラ加工)



島田帯シャツ
(島田帯シャツ
ブランド協議会)



木こりの積木ランド
(有限会社落合製材所)



アニマル・ランド 2
(株式会社前川木工所)



▲パンフレットは商工課(本庁舎 2 階)、またはホームページからご覧いただけます。